実績ある責任施工体制とすぐれた防水システムが安心をお届けします。

ロンシール工業（株）の製品とロンプルーフ防水事業協同組合の施工体制による万全の施工をお約束します。

「ロンシール工業株式会社」
「ロンプルーフ防水事業協同組合員」
連名による協同保証システム。

万全の防水工事
責任施工体制　全国230社

循環型社会に対応した
環境にやさしい防水資材

シート防水のパイオニア
50年以上の歴史に裏づけられた
信頼の防水工法

ロンシール工業株式会社

防水事業部	〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3	TEL.03-5600-1866	FAX.03-5600-1846
防水営業部			
東京営業所	〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3	TEL.03-5600-1866	FAX.03-5600-1846
札幌営業所	〒060-0062 札幌市中央区南二条西13-319 南大通ビル二条館6F	TEL.011-271-0411	FAX.011-271-0422
仙台営業所	〒981-0915 仙台市青葉区通町2-5-28 アクス通町5F501号	TEL.022-301-8788	FAX.022-301-8767
北関東営業所	〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-376-1 サンフィール大宮宮原403号	TEL.048-664-1511	FAX.048-664-3431
横浜営業所	〒231-0013 横浜市中区住吉町1-14 第一総業ビル6F	TEL.045-662-7370	FAX.045-661-0860
大阪営業所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-9-27 新大阪メイコービル4F	TEL.06-6304-2704	FAX.06-6304-6948
名古屋営業所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル4F	TEL.052-950-3200	FAX.052-950-3213
広島営業所	〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16 広島稲荷町第一生命ビルディング4F	TEL.082-506-2500	FAX.082-506-2514
福岡営業所	〒812-0008 福岡市博多区東光2-6-6 第3フジクラビル2F201号	TEL.092-472-5857	FAX.092-473-6179
首都圏営業所	〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3	TEL.03-5600-1866	FAX.03-5600-1846
営業推進グループ	〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3	TEL.03-5600-1866	FAX.03-5600-1846
開発営業グループ	〒130-8570 東京都墨田区緑4-15-3	TEL.03-5600-1866	FAX.03-5600-1846

ホームページアドレス　http://www.lonseal.co.jp/

ロンプルーフ防水事業協同組合

ホームページアドレス http://www.lonproof.or.jp/

事務局　〒130-0021　東京都墨田区緑4-15-3 ロンシールビル1F　TEL.03-5600-4036(代)　FAX.03-5600-4037

KRK
弊社は 40 年の実績を誇るシート防水材料の優良メーカーの団体である当工業会の加盟会社です
合成高分子ルーフィング工業会
http://www.krkroof.net

お問い合わせ・お申し込みは

※印刷の都合上、実物と多少異なる場合がございます。予めご了承ください。
※当カタログは、発行時点の仕様・商品情報に基づいて作成しております。
そのため、都合により予告なく仕様変更・廃番・色柄の改訂を行う場合もございます。
※当カタログは、仕様・商品の概略のみ記載しております。詳細につきましては、
各仕様書・要領書をご確認ください。
※当カタログの無断転載・複製を禁じます。

2018年1月版

PRINTED WITH SOY INK　このカタログは印刷インキに大豆インキを使用しています。
大豆インキはVOC（揮発性有機化合物）の発生が少なく、地球環境の保全に貢献します。

2017.12.S2.1.G.G

LONSEAL
WATER PROOFING SYSTEMS

ウレタン塗膜防水工法

ロンレタン防水 システムガイド

特化則規制対象外
MOCA不使用

ロンシール

確かな安全性で施工も居住も安心!

ロンシールの ウレタン塗膜防水

シート防水のパイオニアとして最先端を歩み続けるロンシールは、
ウレタン塗膜防水も多彩な工法を用意しています。
ただ技術的にすぐれているだけでなく、安全面も考慮。
防水材はもちろん、プライマーやトップコートなどの資材も、
人体に影響を及ぼす化学物質を控え、
施工者や居住者の健康および環境に配慮がなされています。

- 特定化学物質等障害予防規則〔特化則〕 規制対象外
- MOCA 不使用
- 鉛化合物 非含有
- ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 品

特定化学物質等障害予防規則(特化則)とは

労働安全衛生法に基づき、人体に有害な物質を3段階に分け、取扱いの規制をしています。
ウレタン塗膜防水で多く含まれる化学物質「MOCA(3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン)」「TDI(トリレンジイソシアネート)」「エチルベンゼン」
これらの濃度が1%を超えた場合、規制対象となります。
ロンシールのロンレタン防水は、「MOCA」を使用しておりません。また、「TDI」も1%未満の濃度のため規制対象外となります。
エチルベンゼンは原則屋内作業の場合が規制対象となるため、屋外作業は規制対象外となります。

ウレタン塗膜防水材及び関連資材 MOCA・TDIの使用状況

分類	品　　名	MOCA	TDI
防水材	ロンレタン平場用(主剤)	不使用	規制濃度以下
	ロンレタン平場用(硬化剤)		不使用
	ロンレタン立上り用(主剤)		規制濃度以下
	ロンレタン立上り用(硬化剤)		不使用
プライマー	ロンレタンプライマーC		規制濃度以下
	ロンレタンプライマー		不使用
	ロンレタンプライマーF(主剤)		規制濃度以下
	ロンレタンプライマーF(硬化剤)		不使用
トップコート	ロンレタントップコート(主剤)		規制濃度以下
	ロンレタントップコート(硬化剤)		不使用
	ロンレタントップコートF(主剤)		
	ロンレタントップコートF(硬化剤)		
その他資材	ロンレタン硬化促進剤		
	ロンレタンダレ止め剤		
	ロンレタンシンナー		
	ロンレタンボンドS		
	ロンレタンボンドW(主剤)		
	ロンレタンボンドW(硬化剤)		

短い工期で美しい仕上がりを実現する ロンレタンの高いクオリティ

ロンシールのウレタン塗膜防水は、さまざまな部位や下地に対応可能。
高性能かつ高品質な資材により、スピーディな施工が可能です。

性能

速乾性にすぐれ工期の短縮を実現

寒さの厳しい冬期においても翌日に硬化するすぐれた速乾性で、
年間を通じて工期の短縮が可能になります。

品質

JISの基準を満たした高品質な防水材

JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)認証品を使用。

美化

複雑な部位でも美しい仕上がりに

シート防水だけでは施工が困難な場所でも、
継ぎ目のないシームレスな塗膜を形成します。

■ ロンレタン防水が効率的な部位

ロンレタン防水工法 用途適用区分

工法	適用部位	屋根		ひさし		開放廊下・バルコニー		紹介ページ
	適用下地	RC	PC	RC	PC	RC	PC	
U-2　密着クロス工法		○	○	○	○	○	○	P.3
U-3　密着クロス工法		○	○	○	○	○	○	P.3
U-4　絶縁工法		○	○	ー	ー	○※	○※	P.4
U-1(1.5mm厚)　密着工法		○	○	○	○	ー	ー	P.5
U-1(2.0mm厚)　密着工法		○	○	○	○	○	○	P.5

※仕様記号:U-4は、床材との接着は避けてください。

ロンレタン防水U-2・3仕様

ロンレタンクロスを用いてウレタン塗膜防水の厚みを均等にし、すぐれた防水性能を発揮

MOCA不使用　露出　密着　歩行

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **X-2**　国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **X-2**　日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) **L-UFS**
適合仕様:**U-2**

イメージ図　ロンレタン防水仕様U-2の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

適応下地	適応部位	改修対応	耐火・防火
RC　PC　ALC	陸屋根 ◎最適　バルコニー ◎最適	コンクリート下地 ◎最適　露出防水下地 △対応可	防火 **屋根一般仕様のみ** 下地同等とみなされるため、飛び火認定は必要ありません。(平成12年度建設省告示 第1365号例示仕様)

仕様記号		U-2(3.0mm厚)		U-3(2.0mm厚)	
部位		平場 (3.0mm厚)	立上り (2.0mm厚)	平場 (2.0mm厚)	立上り (2.0mm厚)
施工手順	1.下地処理	ロンレタンプライマーC(0.2kg/㎡)			
	2.ウレタン塗膜材	ロンレタン (0.3kg/㎡)	ロンレタン立上り用 (0.5kg/㎡)	ロンレタン (0.3kg/㎡)	ロンレタン立上り用 (0.5kg/㎡)
	3.補強材・通気シート	ロンレタンクロス			
	4.ウレタン塗膜材	ロンレタン (2.0kg/㎡)+(1.6kg/㎡)	ロンレタン立上り用 (1.1kg/㎡)+(1.0kg/㎡)	ロンレタン (2.3kg/㎡)	ロンレタン立上り用 (1.1kg/㎡)+(1.0kg/㎡)
	5.トップコート	ロンレタントップコート(0.2kg/㎡)またはロンレタントップコートF(0.2kg/㎡)			
オプション(P.6)		ロンマットME、ロンステップME			

設計上の注意

U-2仕様の立上り面は、U-3仕様と同じです。(平均塗膜厚:2.0mm、ロンレタン立上り用使用)
下地が、塩ビシート防水・金属の場合には、ロンレタンプライマーCの代わりに、ロンレタンプライマー(0.2~0.3kg/㎡)を使用します。
下地が、ウレタン塗膜防水、および塗り重ね間隔が開いた場合には、ロンレタンプライマーF(0.15kg/㎡)を使用します。
トップコートは、3~5年の塗り替えをお勧めします。

ロンレタン防水U-4仕様

下地挙動が大きくひび割れが発生しやすい場合に適しています。

MOCA不使用　露出　絶縁　歩行

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 **X-1**　国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書 **X-1**　日本建築学会 建築工事標準仕様書(JASS 8) **L-USS**
適合仕様:**U-4**

イメージ図　ロンレタン防水仕様U-4の構造を表すイメージ図です。実際とは多少異なります。

適応下地	適応部位	改修対応	耐火・防火
RC　PC　ALC	陸屋根 ◎最適　バルコニー ◎最適	コンクリート下地 ◎最適　露出防水下地 △対応可	防火 **屋根一般仕様のみ** 下地同等とみなされるため、飛び火認定は必要ありません。(平成12年度建設省告示 第1365号例示仕様)

仕様記号		U-4(通気緩衝工法)(3.0mm厚)	
部位		平場 (3.0mm厚)	立上り (2.0mm厚)
施工手順	1.下地処理	ロンレタンボンド (0.3~0.5kg/㎡)	ロンレタンプライマーC (0.2kg/㎡)
	2.ウレタン塗膜材	———	ロンレタン立上り用 (0.5kg/㎡)
	3.補強材・通気シート	ロンレタンシート ロンレタンテープ	ロンレタンクロス
	4.ウレタン塗膜材	ロンレタン立上り用(1.0kg/㎡) + ロンレタン(1.5kg/㎡)+(1.5kg/㎡)	ロンレタン立上り用 (1.1kg/㎡)+(1.0kg/㎡)
	5.トップコート	ロンレタントップコート(0.2kg/㎡)またはロンレタントップコートF(0.2kg/㎡)	

施工上の注意

塗り重ね間隔は、通常3日以内です。それ以上の間が空いた場合には、ロンレタンプライマーF(0.15kg/㎡)を使用するか、サンディング処理をしてから重ね塗りをしてください。

ロンレタン防水U-1仕様

シート防水だけでは施工が困難な箇所に最適な工法です。

MOCA不使用　露出　密着　歩行対応可（塗膜厚・下地による）

適応下地	適応部位	改修対応	耐火・防火
RC　PC　ALC	陸屋根 ◎最適　バルコニー ◎最適	コンクリート下地 ◎最適　露出防水下地 △対応可	防火　屋根一般仕様のみ 下地同等とみなされるため、飛び火認定は必要ありません。 （平成12年度建設省告示 第1365号例示仕様）

仕様記号		U-1（1.5mm厚）非歩行（点検歩行可）		U-1（2.0mm厚）歩行可	
部位		平場	立上り	平場	立上り
施工手順	1.下地処理	ロンレタンプライマーC（0.2kg/㎡）			
	2.ウレタン塗膜材	ロンレタン（2.0kg/㎡）	ロンレタン立上り用（2.0kg/㎡）	ロンレタン（1.0kg/㎡）+（1.6kg/㎡）	ロンレタン立上り用（1.0kg/㎡）+（1.6kg/㎡）
	3.トップコート	ロンレタントップコート（0.2kg/㎡）またはロンレタントップコートF（0.2kg/㎡）			
オプション（P.6）		ロンマットME、ロンステップME			

設計上の注意

立上り面は、ロンレタン立上り用を使用してください。（ロンレタンにダレ止め剤添加でも対応可能です）
下地が、塩ビシート防水・金属の場合には、ロンレタンプライマーCの代わりに、ロンレタンプライマー（0.2～0.3kg/㎡）を使用します。
下地が、ウレタン塗膜防水、および塗り重ね間隔が開いた場合には、ロンレタンプライマーF（0.15kg/㎡）を使用します。
トップコートは3～5年の塗り替えをお勧めします。

施工上の注意

塗り重ね間隔は、通常3日以内です。それ以上の間が空いた場合には、ロンレタンプライマーF（0.15kg/㎡）を使用するか、
サンディング処理をしてから重ね塗りをしてください。

ロンレタン防水とロンマットMEとの取り合い

ウレタン塗膜防水材「**ロンレタン**」と
防滑性ビニル床シート「**ロンマット ME**」、
「**ロンステップ ME**」を併用して施工することで
開放廊下・ベランダ・バルコニー・外階段にも
適用できます。

1 U-1 床仕様
（階下が居住空間ではない屋根のある場所）

ロンレタン防水仕様U-1を側溝・端部に行った開放廊下用床仕様のイメージ図です
（防水仕様ではありません）。

1 U-1 床仕様 側溝・端部施工断面イメージ

2 U-1 防水仕様（階下が居住空間ではない場所）
3 U-2 防水仕様（階下に居住空間がある場所）

ロンレタン防水仕様U-1で全面防水した上に防滑性床材ロンマットMEを
接着させたマンション開放廊下等の構造を表すイメージ図です。

施工上の注意

壁面と床面の構造が異なる場合には、U-3（ロンレタンクロスまたは、ロンレタンテープ使用）で施工してください。
床材（ロンマットME）とロンレタンとの取り合い部は、必ずエルズシーラーまたはSPシーラントUで処理をしてください
（トップコートがフッ素タイプの場合は、SPシーラントUをご使用ください）。
トップコートがフッ素タイプの場合には、トップコートの上から、ロンマットME・ロンステップMEを接着できません。
ロンステップMEの場合は、SPシーラントUで処理をしてください。
U-1（床仕様）の場合、床材とのラップ幅は約100mm確保してください。その際、床材面に段差が出ない様に、ロンレタンをなだらかに仕上げてください。
壁面と床面の構造が異なる場合は、ロンレタンテープまたはロンレタンクロスを組み合わせた構造にしてください。

主要資材

ウレタン塗膜材（ロンレタン防水用資材）

ロンレタン平場用
（主剤・硬化剤）

ウレタン建材工業会
NUK-F06131 F☆☆☆☆

MOCA不使用　火気厳禁

平場面に使用するウレタン塗膜防水材です。

■素　材　ウレタン樹脂系
［主剤］第4類第3石油類（非水溶性）
危険等級Ⅲ
［硬化剤］指定可燃物（可燃性液体類）
■粘　度　［主剤］3,500～7,500mPa･s
［硬化剤］6,000～55,000mPa･s
■梱　包　［主剤］6kg/缶
［硬化剤］12kg/缶
■混合比率　主剤:硬化剤＝1:2
■可使時間　50～70分
■　色　グレー
■硬化物比重　1.3
■備　考　JIS A 6021
ウレタンゴム系高伸長形（旧1類）適合品（平場用）
重量物の設置にあたっては、施工完了から夏期で3日、冬季で7日程度あけてください。

ロンレタン立上り用
（主剤・硬化剤）

ウレタン建材工業会
NUK-F06132 F☆☆☆☆

MOCA不使用　火気厳禁

立上り面に使用するウレタン塗膜防水材です。

■素　材　ウレタン樹脂系
［主剤］第4類第3石油類（非水溶性）
危険等級Ⅲ
［硬化剤］非該当（非危険物 固体）
■粘　度　［主剤］3,500～7,500mPa･s
［硬化剤］40,000～160,000mPa･s
■梱　包　［主剤］6kg/缶
［硬化剤］12kg/缶
■混合比率　主剤:硬化剤＝1:2
■可使時間　40～60分
■　色　グレー
■硬化物比重　1.3
■備　考　JIS A 6021
ウレタンゴム系高伸長形（旧1類）適合品（立面用・目止め用）

〈物性表〉

試験項目			ロンレタン（平場用）	ロンレタン（立上り用）	規格 JIS A 6021:2011 建築用塗膜防水材 屋根用塗膜防水材 ウレタンゴム系高伸長形（旧1類） 一般用2成分形
引張性能	引張強さ N/mm²	試験時温度 23℃	5.0	5.9	2.3以上
		試験時温度 -20℃	10.4	13.2	2.3以上
		試験時温度 60℃	4.2	4.6	1.4以上
	破断時の伸び率 %	試験時温度 23℃	1010	880	450以上
	抗張積 N/mm	試験時温度 23℃	1020	1030	280以上
	破断時のつかみ間の伸び率 %	試験時温度 23℃	680	680	300以上
		試験時温度 -20℃	520	620	250以上
		試験時温度 60℃	610	510	200以上
引裂性能		引裂強さ N/mm	17	16	14以上
加熱伸縮性能		伸縮率　%	-0.8	-0.6	-4.0以上 1.0以下
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 %	加熱処理	106	98	80以上
		促進暴露処理	90	88	60以上
		アルカリ処理	100	86	60以上
		酸処理	96	95	80以上
	破断時の伸び率 %	加熱処理	1080	890	400以上
		促進暴露処理	1020	900	400以上
		アルカリ処理	1130	870	400以上
		酸処理	1050	910	400以上
伸び時の劣化性状		加熱処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形がない。	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形がない。	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があってはならない。
		促進暴露処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形がない。	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形がない。	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があってはならない。
		オゾン処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形がない。	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形がない。	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があってはならない。
たれ抵抗性能		たれ長さ mm	－	いずれの試験体も0.0	いずれの試験体も3.0以下。
		しわの発生	－	いずれの試験体にもない	いずれの試験体にもあってはならない。
固形分　%		主剤	96.6	96.6	表示値（97）±3.0
		硬化剤	97.8	97.6	表示値（100）±3.0
硬化物密度　Mg/㎥			1.3	1.3	表示値（1.3）±0.1

プライマー（ロンレタン防水用資材）

ロンレタンプライマーC

ウレタン建材工業会
NUK-F06133 F☆☆☆☆

火気厳禁

コンクリート下地用のプライマーです。

■素　材　ウレタン樹脂プライマー
第4類第2石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ
■粘　度　80～170mPa･s
■外　観　淡褐色粘稠液体
■梱　包　17kg/缶
■標準使用量　0.2kg/㎡
■使用方法　ポルトランドセメントに重量比で1:1に撹拌混合して使用します。

ロンレタンプライマーF
（主剤・硬化剤）

火気厳禁

ロンレタン塗布間隔が開いた場合やトップコートFに使用するプライマーです。

■素　材　ウレタン樹脂プライマー
［主剤・硬化剤］
第4類第1石油類（非水溶性）
危険等級Ⅱ
■粘　度　［主剤・硬化剤］10mPa･s以下
■梱　包　［主剤］4kg/缶　［硬化剤］4kg/缶
■外　観　［主剤］淡黄色透明液体
［硬化剤］透明液体
■標準使用量　0.15kg/㎡

ロンレタンプライマー

火気厳禁

塩化ビニル樹脂下地、金属下地用のプライマーです。

■素　材　ウレタン樹脂プライマー
第4類第1石油類（非水溶性）危険等級Ⅱ
■粘　度　8～12mPa･s
■外　観　淡黄色液体
■梱　包　0.5kg/缶、17kg/缶
■標準使用量　0.2～0.3kg/㎡

〈プライマー選択表〉

適用下地	ロンレタンプライマーC※1	ロンレタンプライマー	ロンレタンプライマーF※2
コンクリート	◎		
ALC	◎		
金属下地（鉄・アルミ・ステンレス・亜鉛鉄板）		◎	
塩化ビニル		◎	
（従来型）ウレタン塗膜防水		◎	◎
ロンレタン			◎

※1　モルタルと混合して使用します。
※2　ロンレタンの塗布間隔が空いた場合や、ロンレタントップコートFの施工時にも使用します。

保護塗料（ロンレタン防水用資材）

ロンレタントップコート
（主剤・硬化剤）

ウレタン建材工業会
NUK-F06134 F☆☆☆☆

火気厳禁

ロンレタン用のアクリルウレタン系着色塗料です。

■素　材　アクリルウレタン系
［主剤］第4類第2石油類（非水溶性）
危険等級Ⅲ
［硬化剤］第4類第1石油類（非水溶性）
危険等級Ⅱ
■梱　包　［主剤］7kg/缶　［硬化剤］7kg/缶
■標準使用量　0.2kg/㎡
■色　数　5色（防水シートと同色。硬化剤に着色）
※防水シートに合わせて調色していますが、ロットにより色ブレを生じることがあります。

P-51（PA-31）ホワイトグレー
P-52（PA-52）ブラウン
P-53（PA-33）グリーン
P-54（PA-34）グレー
P-56（PA-36）ライトグリーン

ロンレタントップコートF
（主剤・硬化剤）

フッ素系の高耐久着色塗料です。

■素　材　フッ素系
［主剤・硬化剤］
第4類第2石油類（非水溶性）
危険等級Ⅲ
■梱　包　［主剤］2kg/缶　［硬化剤］6kg/缶
■標準使用量　0.2kg/㎡
■色　数　5色（防水シートと同色。硬化剤に着色）
※防水シートに合わせて調色していますが、ロットにより色ブレを生じることがあります。
※受注生産品（納期約2週間）

火気厳禁

補強シート・通気緩衝用シート（ロンレタン防水用資材）

ロンレタンクロス

ロンレタン防水（U-2・U-3）に使用するガラス繊維補強布です。

■素　材　ガラス繊維
■寸　法　幅1,040mm×100m巻

ロンレタンシート

ロンレタン通気工法（U-4）に使用する通気緩衝シートです。

■素　材　ポリエステル
■寸　法　厚さ1.2mm/
幅1,200mm×50m巻
※受注生産品（納期約2週間）

その他資材（ロンレタン防水用資材）

ロンレタン硬化促進剤

火気厳禁

ロンレタンの硬化乾燥を早める促進剤です。

■素　材　硬化促進剤
　　第4類第2石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ
■粘　度　30mPa·s以下
■外　観　微黄色液体
■梱　包　1kg/缶

〈ロンレタン硬化促進剤添加量と硬化時間表〉

■ロンレタン

気温（℃）	5			20			35		
添加量/1セット（g）	無添加	60	120	無添加	30	60	無添加	30	60
可使時間（分）	60	30	20	40	30	20	20	ー	ー
指触乾燥（時間）	8	4	3	4	3.5	3	3	ー	ー
硬化時間（時間）	16	6	4	6	5	4	4	ー	ー

■ロンレタン立上り用

気温（℃）	-5			5			20		
添加量/1セット（g）	無添加	60	120	無添加	30	60	無添加	30	60
硬化時間（時間）	16	12	5	9	5	3	5	3	ー

※ロンレタン、ロンレタン立上り用ともに、可使時間・指触乾燥時間・硬化時間は目安です。

ロンレタンダレ止め剤

火気厳禁

ロンレタン主剤に添加し、ダレ止め効果を与えます。

■素　材　ダレ止め剤
　　第4類第2石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ
■外　観　褐色透明液体
■梱　包　1kg/缶
※受注生産品（納期約2週間）

〈ロンレタンダレ止め剤の添加量〉

ロンレタンダレ止め剤添加量	なし	60ml	120ml
適用面	3/100以下	立面	立面
塗布量目安（kg/m²）	2.0	0.8	1.2

※ロンレタン平場用1セット（18kg）に対する、添加量です。
※塗布量は目安です。添加量は120mlを上限としてください。

ロンレタンシンナー

火気厳禁

ロンレタンの作業性が悪い場合に使用する粘度調整用溶剤です。

■素　材　キシレン
　　第4類第2石油類（非水溶性）危険等級Ⅲ
■外　観　無色透明液体
■梱　包　15kg/缶
■備　考　添加量はロンレタン主剤・硬化剤の
　　合計重量の5%以内としてください。

ロンレタンテープ

ロンレタンシート・クロスの目地テープです。

■素　材　ポリエステル・ポリアミド繊維粘着テープ
■寸　法　50mm×50m巻
※受注生産品（納期約2週間）

ロンレタンボンドS

火気厳禁

ロンレタンシート用の接着剤です。

■素　材　クロロプレン系接着剤
　　第4類第1石油類（非水溶性）危険等級Ⅱ
■粘　度　2,500～4,000mPa·s
■外　観　淡褐色粘稠液体
■梱　包　15kg/缶
※受注生産品（納期約2週間）

ロンレタンボンドW（主剤・硬化剤）

ウレタン建材工業会
NUK-F06135 F☆☆☆☆

火気厳禁

ロンレタンシートの冬用接着剤です。

■素　材　2液性ウレタン系接着剤
　　［主剤］
　　第4類第4石油類 危険等級Ⅲ
　　［硬化剤］非該当（非危険物 固体）
■粘　度　［主剤］150～250mPa·s
　　［硬化剤］25,000～95,000mPa·s
■外　観　［主剤］淡褐色粘稠液体
　　［硬化剤］淡灰色ペースト状
■梱　包　［主剤］2kg/缶　［硬化剤］8kg/缶
※受注生産品（納期約2週間）

ロンレタンチップ・ロンレタンフィラー

防滑仕上げの際に、ロンレタントップコートに混合します。

［ロンレタンチップ］
■素　材　EVA系ゴムチップ
■粒　度　0.4mm以下
■梱　包　450g/袋、10kg/袋
■標準添加量　トップコート14kgに対し、140g
　　（約1%ローラー仕上げの場合、
　　ロンレタンシンナー0～1kgにて
　　希釈して使用）

［ロンレタンフィラー］
■素　材　パーライト
■粒　度　5～150μm
■梱　包　420g/袋
■標準添加量　トップコート14kgに対し、420g
　　（約3%ローラー仕上げの場合、
　　ロンレタンシンナー0～1kgにて
　　希釈して使用）
※受注生産品（納期約2週間）

納まり図例

平場部

架台部

縦型ドレイン部

横型ドレイン部

ロンマットME併用　防水仕様（U-1）

ロンマットME併用　床仕様（U-1）

ロンレタン防水-シート防水　取り合い部

架台部

平場部